

競技注意事項

通信名古屋地区予選、混成競技会

1 本大会は2022年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項によって実施する。
本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を考えたの競技会のため、通常とは違うので、しっかりと確認をすること。（別紙「新型コロナウイルス感染拡大防止策」参照）

2 ナンバーカード（ビブス）について

- (1)ユニホームの胸、背に確実につける。
- (2)走高跳は胸または背につけるだけでよい。
- (3)走幅跳は胸だけでもよい。
- (4)トラック競技の800m以上の種目に出場する競技者には、写真判定用の「腰ナンバー標識」を配付する。ランニングパンツの右横やや後方に、そのままの大きさと正確に数字が読めるようにつける。（400mまでは腰ナンバーは付けない）
- (5)腰ナンバー標識をフィニッシュ後、前方スタンド側にいる係に返却する。

3 ウォーミングアップについて（入場は競技者のみです）

- (1)ウォーミングアップ場として
競技場内を7:45～競技終了まで使用できる。
※フィールド競技の種目練習はできない。
- (2)投てき種目は、競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。
- (3)競技場内のトラックは、バックストレート付近でウォーミングアップできる。ただし、競技役員の指示に従い競技会の支障のない範囲で行うこと。

4 招集について

- (1)招集所は競技場内、100mゴール付近と200mスタート付近の2箇所に設ける。チェックを受けた競技者はそれぞれ指定されたベンチに荷物を置きスタート地点及び競技場所へ移動する。
※別紙参照
- (2)招集の受付は本人が行い、時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めない。
- (3)招集開始時刻及び招集完了時刻は、種目により違うので競技日程表を確認する。
(4)体調管理チェックシートの提出は招集時に提出をすること。

5 競技場への入退場について

- (1)入場、退場は、すべて係の指示により行う。
- (2)入場、退場の詳細は別紙参照。

6 レーン順・試技順について

トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。

7 競技について

- (1)トラック競技について（すべてタイムレース）
 - ①すべて写真判定装置を使用する。
 - ②本大会のスタート動作における競技規則については、国内ルールを適用する。
 - ③レーンで行う競技においては、欠場者のレーンは空ける（ただし、800mについては出発係の指示による）。
 - ④短距離競走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も割り当てられたレーン（曲走路）を走行して止まる。
- (2)フィールド競技について
（長さを競う種目の試技は6回で行う。）
 - ①フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
 - ②フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。また、サークルから行う投てき競技は、マーカーを1個だけ使用できる。

- (3) 競技者は、勝手に競技場所を離れたり、ビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・MD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことは禁止する。

9 競技用器具について

競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。

10 競技用靴について (TR5. 2/TR5. 3/TR5. 4/TR5. 5/TR5. 6)

スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とする。スパイクピンは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。なお、スパイクピンの数は11本以内とする。

ランニングシューズで競技会へ出場する場合は、フィールド競技では20mmまで、トラック種目では400mまでは20mm、800m以上では、25mmまでとする。

11 陸上競技場の使用について

- (1) 選手のみ入場できます。自分の競技時間に合わせて来てください。
(2) 清掃・ゴミ処理は、各団体、各自で責任をもって行い、環境美化に努める。

ゴミ問題は深刻な状況です。各自「ゴミの持ち帰り」をお願いします。特に今、新型コロナウイルス感染防止のためにも、他人に迷惑をかけないよう互いに気を配り、自宅への持ち帰りにご協力ください。

12 その他

- (1) 本大会は大型映像を活用して競技会運営を行わないので、氏名・所属等の間違い、**訂正があれば本部に申し出ること。**
- (2) 競技場に商品名のついた衣類・バッグを持ち込む場合は、競技規則に準ずる。
- (3) 更衣室は更衣のみに使用し、**シャワーの使用は禁止**します。また荷物は置かないようにする。更衣後の荷物は各自で管理する。
- (4) 貴重品類は、各自で保管する。万一の事故があっても、責任は負わない。盗難に注意すること。
- (5) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、**医務室において処置を受ける。なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。**
- (6) 記録証は、記録室へ1000円(送料込み)を添えて本部に申し込む。
- (7) 本大会はYouTubeにてライブ配信を行わない。
- (8) 各選手は45%程度のナイロン袋を用意すること。※招集場にて各自荷物をナイロン袋に入れます。**
- (9) 記録の掲示は行わない。携帯速報より確認すること。**※競技時間参照。**
- (10) 混成競技に参加する選手はスタンドにて待機する事ができる。**
※待機する選手との距離を考え密にならないようにすること。